

阿蘇山の噴火警戒レベルを2へ引下げ

本日（18日）11時00分に阿蘇山の噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き下げました。引き続き、中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

阿蘇山の中岳第一火口では10月21日以降、噴火は発生していません。火山性微動の振幅は小さな状態であり、火山活動は低下しています。

このことから、中岳第一火口から1kmを超え、概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、本日（18日）11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態が継続しており、GNSS連続観測では、一部の基線において伸びが認められていることから、火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課 中村
電話 03-6758-3900（内線 5184）